

令和7年度第78回高体連オホーツク支部サッカー選手権大会
兼 第78回北海道高等学校サッカー選手権大会オホーツク支部予選会
実施要項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 令和7年度第78回高体連オホーツク支部サッカー選手権大会
兼 第78回北海道高等学校サッカー選手権大会オホーツク支部予選会
- 3 主 催 北海道高等学校体育連盟オホーツク支部
オホーツク地区サッカー協会
- 4 主 管 北海道高等学校体育連盟オホーツク支部サッカー専門部
オホーツク地区サッカー協会2種委員会
- 5 当 番 校 北海道北見緑陵高等学校
〒090-8558 北海道北見市大正255番地
TEL : 0157-36-4536 FAX : 0157-36-4667
- 6 競技日程 令和7年5月21日(水)から5月24日(土)までの半日と3日間
5月21日(水) 9:30 審判会議(Web会議システム)
10:00 顧問会議()
10:30 監督・主将会議()
11:00 開会式()
5月22日(木) 9:30 競技開始
5月23日(金) 10:00 競技開始
5月24日(土) 10:00 競技開始 決勝終了後、閉会式
- 7 会 場 モイワスポーツワールド A面
〒090-0879 北海道北見市美園369-1
TEL : 0157-37-2244

北海道北見緑陵高等学校
〒090-8558 北海道北見市大正255番地
TEL : 0157-36-4536 FAX : 0157-36-4667
- 8 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
(2) 選手は北海道高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、本競技専門部に登録し、本競技実施要項により大会参加の資格を得たものに限る。
(3) 令和7年度(公財)日本サッカー協会に登録を完了したものとする。
(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入または加入の意志のある者。
(5) 年齢は、平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での競技出場は1回限りとする。「出場」とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさす。
大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
(6) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。

- (7) 部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (8) 統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (9) 転校後6カ月未満のもの(大会日起算)は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)ただし、年度をまたぐ場合、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
- (10) 各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。ただし、顔写真登録をしていない登録選手一覧も有効とする。(選手証とは、KICKOFFから出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。)
- (11) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (12) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、本競技実施要項により大会参加資格を満たした生徒について、別に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(5)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

【大会参加資格の別途定める規程】

- 1 学校教育法第72条、第115条、第124条及び第134条の学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、北海道高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ全道大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加心得を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等にしながらうとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

- 9 チーム編成
 - (1) チーム編成は、引率責任者1名・監督1名・マネージャー(2名)及び選手(25名以内)とする。
 - (2) 外国人留学生のエントリー数は、4名以内とする。そのうち、試合に出場することができるのは2名以内とする。
 - (3) 合同チームによる出場は以下の条件を具備すること。
 - 1 大会参加資格を認める条件
 - ア 本開催要項【8 参加資格】を満たしていること。

イ 単独チームでの参加(11人)が、いずれの学校とも困難であること。ただし、それぞれの学校が7名以上の場合、可能な限り単独チームでの出場を目指すものとする。

(特例)

部員不足チームが1チームだけで参加できないことを避けるために、部員不足チームとそうでないチームの合同も特例として認めるものとする。

例:A校…11人 B校…4人

:A校…12人 B校…3人 C校…3人

この場合、合計部員数は20人以下であることが望ましい。

ウ 学校が同一支部内にあり、地理的に隣接していること。

エ 合同チームによる練習が、計画的・継続的に実施されていること。

オ 各校の学校長が申請し、道専門部より承認を得ていること。

カ 各校の教員により引率されること。(代表責任者をおくこと)

2 その他

チーム名は合同チームを編成する学校で決定するものとする。ただし、各校名がはっきりわかるものとする。

- 10 競技規則
- (1) 2025年度(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
 - (2) 試合開始前に、選手と9名以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち、5名まで主審の許可を得て交代することができる。
 - (3) 交代回数の制限について
 - ア 選手交代は、3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)
 - イ ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの選手交代は、交代回数に含まれない。
 - ウ 延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる。(直前の70分間と合わせて、最大6名かつ4回の交代が可能となる)
 - (4) 脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次のとおりとする。
 - ア 本項に基づく選手の交代は、前項に定める交代人数および交代回数に含まれない。ただし、人数は1名に限るものとする。
 - イ 本項に基づく選手の交代が使われたのならば、相手チームは、(脳震盪に限らず)いかなる理由であっても1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。
 - (5) 今大会において退場を命じられた競技者は、大会を問わず次の公式試合1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
 - (6) 今大会において2回の累積警告を受けた競技者は、次の1試合の出場資格を失う。
 - (7) ユニフォームについて
 - ア シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。ショーツの番号については付けることが望ましい。(番号は1番から25番までの番号とする。)副ユニフォームについても同様である。
 - イ 正副2着を必ず携行すること。(副はシャツ、ショーツ、ソックスそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること)
 - ウ 縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台地を付けるものとする。
 - エ チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判断し得るものでなければならない。
 - オ 参加申込以降のユニフォームの変更は認めない。なお、番号の変更も認めない。

- 11 競技方法 (1) トーナメント方式によりオホーツク支部代表2校を決定する。
 (2) 試合時間は、1回戦から決勝まで70分間(35分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは原則として10分とする。勝敗が決しない場合は、20分(10分ハーフ)の延長戦を行い、なお勝敗が決しない場合はペナルティーキック方式により、次回戦進出校及び優勝校を決定する。
 (3) 3位決定戦は行わない。
- 12 引率責任者および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申し出に別途協議する。なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
- 13 参加申込 (1) 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入して、一通はできるだけ早く e-mail で、一通(学校長の職印のあるもの)は郵送で下記に送付する。
 (2) 申込先 〒090-8558 北海道北見市大正255番地
 北海道北見緑陵高等学校
 高体連サッカーオホーツク支部大会事務局 宛
 TEL : 0157-36-4536 FAX : 0157-36-4667
 (3) 申込締切期日 令和7年5月8日(木)16:30まで
 (4) 登録変更 選手の変更は、3名以内とし変更用紙に必要事項を記入し、一通はできるだけ早く e-mail で、一通(学校長の職印のあるもの)は郵送で上記に送付すること。番号、ユニフォームの色の変更は認めない。選手変更用紙は5月15日(木)まで当番校必着のこと。
- 14 参加料 1チームにつき12,000円とする。最初の試合の日に持参し、受付で納入する。
- 15 表彰 (1) 優勝以下第3位まで賞状を授与する。優勝校には優勝杯を授与し表彰する。
 (2) 優勝校・準優勝校には6月11日より旭川市で開催される全道大会への出場資格を与え出場を義務付ける。
- 16 諸会議 (1) 審判員会議 5月21日(水) 9:30 (Web会議システム)
 (2) 顧問会議 5月21日(水) 10:00 (")
 (3) 監督・主将会議 5月21日(水) 10:30 (")
 (4) 開会式 5月21日(水) 11:00 (")
- 17 宿泊申込 各校で申し込み、当番校への問い合わせはしないこと。
- 18 組合抽選会 (1) 5月9日(金)13:00に北海道北見緑陵高等学校会議室において、高体連専門委員、オホーツク地区サッカー協会2種常任委員、審判部長および当番校事務局により公開で実施する。
 (2) 抽選は、e-mailの受付順に予備抽選を行い、その後本抽選を行う。
 (3) 前年度の新人戦およびリーグ戦の上位チームによるシード順位決定戦を4月下旬から5月上旬に行い、第1から第4シードまでを決定する。なお、第4シードはシード権をパスすることができる。
 (4) 抽選により決定した組合せについては、後日参加各校に電子文書にて送付する。
- 19 その他 (1) 出場校は、必ず引率教員によって引率され、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。
 (2) 試合開始60分前に両監督が参加し、ミーティングを実施する。そこで、試合ごと

に正、副のユニフォームを必ず持参し、登録選手（25名）のチェックやユニフォームの色の決定などを行う。

- (3) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。尚、参加者は健康保険証を持参すること。
- (4) 準決勝終了後直ちに3位の表彰を行う。
- (5) 不測の事態により、競技に影響がある場合は、専門委員、2種委員長、当番校で協議し決定する。

- 20 連絡事項
- (1) 日本サッカー協会への追加登録は5月7日（水）までに Web 登録および入金を済ませること。
 - (2) 5月21日（水）の諸会議については、Web 会議システム（Google Meet）を用いて行う。詳細は後日メールにて連絡する。
 - (3) ウォーミングアップは指定の場所で行うものとし、試合前のピッチ内アップは指定された時間のみ認める。